

最近気になるおしっこの話 前立腺肥大症を中心にー

男性は50歳を過ぎるころになると種々のおしっこの悩みをかかえることが多くなります。「夜間何度もトイレに起きて良く眠れない」、「おしっこの勢いが弱い」、「若いときと比べておしっこの線が細くなった」、「トイレに間に合わずおしっこがもれそうになる」、などの症状が出てきたら要注意です。これらの悩みの多くは前立腺肥大症が原因で起こるものです。前立腺は男性膀胱の出口にあって本来は精液を作る役目をしています。原因はまだ不明ですが、前立腺は加齢とともに徐々に大きくなり、排尿障害を引き起こして老齡男性の「生活の質」を低下させます。特に注意が必要なのは前立腺がんの可能性も考えられることです。前立腺がんはPSA（前立腺特異抗原）という簡単な血液検査で早期診断が可能です。またこれらの排尿異常は、脳梗塞、糖尿病、脊椎疾患、などよく見られる病気の一症状として現れたり、普段常用している薬が原因になることもあります。おしっこの悩みはとかく加齢に伴う変化の一つとして見過ごされがちですが、きちんとした診断を受けることで必ず適切な治療法が見つかります。がまんせずに早めにかかりつけの医師や専門医に相談することをおすすめします。

平成11年 5月
田端 運久